

ことねぎだより

2017年7月号 NO.122 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

今月の ことねぎ

● 今月、みなさまにお届けする
● 九条ねぎが京都でどのように
● 育ったものなのか、物語(事)
● を少しでも知っていただき、
● より美味しく召し上がって
● いただければと思います。

先月からお届けが始まった「夏葱」です。京都府内各地で生産していますが、どの産地の葱たちも立派に育っています。日増しに気温が高くなっていく中、農人たちの細かな管理と自然のほど良い雨量で、夏の爽やかな風味がより感じられる自慢の葱です。



先月から夏ねぎのお届けが始まり、亀岡・美山産地での作業や収穫が活発な毎日。先月末にまとまった恵の雨が降り、梅雨を越えたねぎたちはますます美味しさに磨きがかかっています。亀岡・美山産地の広々としたねぎ畑から空を見上げると、夏を感じる生き生きとした雲が広がっています。



一般社団法人

日本農業法人協会の会長に就任



この度、代表の山田が6月15日に(一社)日本農業法人協会の会長に就任いたしました。

2年間、同協会での副会長の業務を経て、様々な方から

のご支援・ご協力をいただいた中で、今回の会長就任に至りました。

代表の山田自身、「日本の農業の発展、振興」を使命として農業経営に携わる中、その実現に向けて大きなきっかけになる機会となり、全力を尽くす所存です。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします!

今年の二十四節気より 四季の「こと」

季節の移ろいをこまやかに感じとり、自然の流れによりそう昔ながらの暦は、農作業の目安にもなる農事歴でもあります。

一文月

7日 小暑

梅雨が明け、本格的な暑さが始まり夏を感じる頃。文字通り、気温が上昇し汗ばむシーズンの到来。蝉も鳴き出す頃ですね。

23日 大暑

一年のうちでもっとも暑いとされる頃。むわっとした熱気がまとわりつきます。打ち水などで涼を得る風景がみられます。

古きよき暮らしの感覚に触れ

もっと四季を身近に

こと農人

畑にいる農人たちの姿を伝えます。

屋間の気温が33℃徐々に暑くなってきた京都ですが、まだまだこれから気温が上がっていくんだな…とも身構えている農人たち。

フレッシュ農人たちにとっての刺激

シルバーさんの方たちと一緒に、夏ねぎをお届けする美山での草引き作業。新入社員や研修生たちは、ベテランの方の速さ・的確さには驚いた様子。長年鍛えられた足腰の強さも目の当たりにし、農業は若さがあるからできるというわけではなく、時間をかけて体力を作ることも必要だと励みになったようです。



ねぎとヒトに水分補給



これから育つねぎの苗たちが、夏の暑さで消えないように灌水装置など使って水を撒きます。日に日に暑さが増していくにつれ、農人たちもこまめに水分補給をとる回数が増えています。熱中症にかかってしまうのを防ぐために、ねぎの管理とともに自己管理もとても大切な時季。皆さんもこれからの季節、気をつけて下さい!